

1 号機タービン建屋内における重油漏れに関する調査結果について

平成 19 年 10 月 10 日、定期検査中の 1 号機タービン建屋地下 1 階の所内ボイラ*室内において、重油サービスタンク付近の床に重油が溜まっていることを当社社員が発見したため、当該タンクレベル計の上下の弁を閉めたところ漏えいは停止しました。

床に溜まっていた重油の量は約 5.3 リットルで、放射能は含まれておらず、拭き取りによる清掃を実施しました。

本事象による外部への放射能の影響はありません。

(平成 19 年 10 月 11 日お知らせ済み)

調査の結果、以下のことがわかりました。

- ・ レベル計のアクリル管の下部に円周方向のひび割れが生じており、アクリル管の割れた面を確認したところ、力が加わったことにより現れる特徴的な模様が観察されたこと。
- ・ レベル計をタンクに取り付ける際、アクリル管と上下の弁を組み立てながらタンクに取り付ける手順であったため、アクリル管に無理な力が加わったこと。
- ・ タンクとの接続部が、ボルトをねじ込む方式であったため、締め付ける際にアクリル管を曲げる力が加わったこと。

以上のことから、原因はレベル計をタンクに取り付ける際に、アクリル管に過度な力が加わった状態で取り付けたため、ひび割れが生じたものと推定しております。

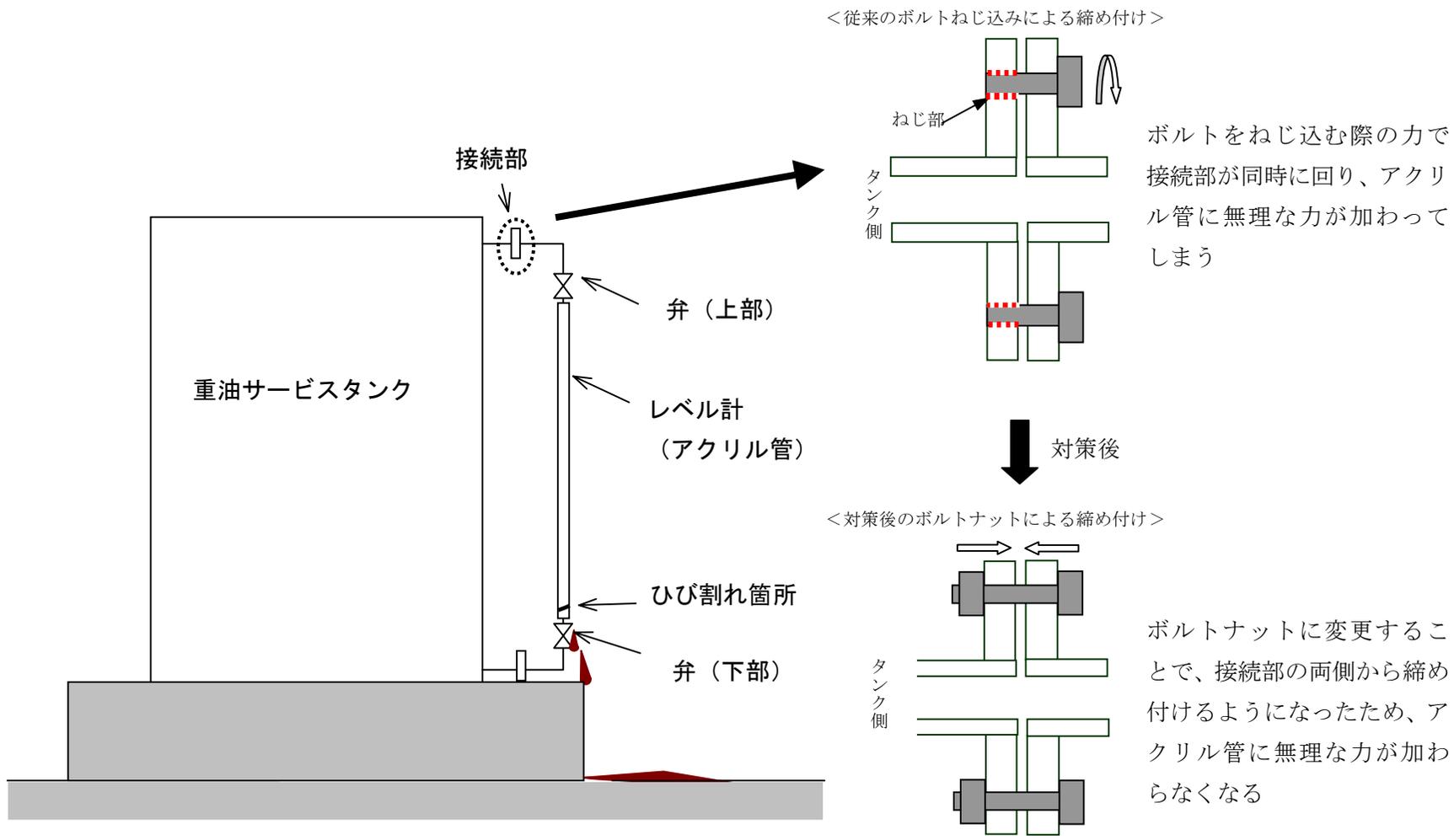
このため、対策として下記を実施します。

- ・ レベル計をタンクへ取り付ける手順を、アクリル管と上下の弁を一体に組み立てた後に、タンクに取り付けるように見直し、アクリル管に過度な力が加わらないようにする。
- ・ タンクへの接続部をボルトナットで締め付ける方式に変更し、両側から挟んで締め付けることで、アクリル管に力が加わらないようにする。

以 上

* 所内ボイラ

1 号機では主に発電所建屋内の暖房用蒸気および気体廃棄物処理系に導かれた排ガスの加熱に使用している。



所内ボイラ室内における重油漏れの概要図